

平成25年度進行管理・評価シート
白河市歴史的風致維持向上計画（平成23年2月23日認定）
（最終変更平成25年3月29日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 歴史まちづくりの庁内連携・推進	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画の活用	2
2 景観計画の活用	3
3 屋外広告物について	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業(小峰城跡災害復旧事業)	5
2 歴史的まちなみ修景事業	6
3 歴史的風致形成建造物保存修景事業	7
4 無電柱化事業(主要地方道白河停車場線)	8
5 無電柱化事業(都市計画道路白河駅白坂線)	9
6 旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業	10
7 屋外広告物景観影響調査等事業	11
8 しらかわ歴史回廊事業	12
9 丹羽長重廟周辺整備事業	13
10 小南湖公園整備事業	14
11 都市計画道路一番町大工町線(教会坂通り)整備事業	15
12 (仮称)都市計画道路乙姫桜プロムナード2号線整備事業	16
13 無形民俗文化財活動記録作成事業	17
14 しらかわ無形民俗芸能等支援事業	18
15 白河歴史教科書作成事業	19
16 ぐるり白河文化遺産めぐり事業	20
17 白河の歴史 再発見！事業	21
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修理(整備を含む)	22
2 文化財の保存・活用を行うための施設	23
3 文化財の防災	24
4 文化財の保存及び活用の普及・啓発	25
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 白河の歴史学ぶきっかけに 手引き「れきしら」作成ほか	26
2 蔵や古い店舗の歴史に思い 白河まちなか景観ウォークほか	27
3 景観、活性化で意見 白河でシンポ 4人のパネリスト	28
⑥その他(様式1-6)		
1 歴史的風致維持向上推進等調査「地域で循環する歴史的建造物の修理システムの構築」	29
2 白河まちなか歴史景観「蔵ウォーク」の開催、景観まちづくりシンポジウムの開催	30

□総括評価シート【方針の達成状況等】(様式2)

①計画に記載している方針(様式2-1)	31～36
---------------------	-------	-------

□総括評価シート【代表的な事業の質の評価】(様式3)

①歴史的風致維持向上施設の整備・管理(様式3-1)	37～39
---------------------------	-------	-------

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	40
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成25年度
		現在の状況
歴史まちづくりの庁内連携・推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 平成22年度からまちづくり行政と文化財保護行政の一元的な展開を推進するため、建設部都市計画課内に「歴史まちづくり室」を設置した。また、「庁内推進本部」を設置し、円滑かつ効果的な事業推進を図ることとした。さらには、「白河市歴史的風致維持向上計画協議会」をはじめ、都市計画審議会、景観審議会、文化財保護審議会などの協力や福島県など関係部局との調整を行い、計画の実現を図るものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史まちづくり事業の実施にあたっては、文化財課との協力・連携のもと事業を実施した。「白河市歴史的風致維持向上計画協議会」を開催し、計画の推進や事業の実施について協議を行った。なお、平成26年2月20日に開催を予定していた「白河市歴史と伝統を活かしたまちづくり庁内推進本部会議」及び「調整会議」については、2月15日の降雪の影響により中止とし、資料配布による意見聴取を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

- 歴史と伝統を活かしたまちづくり庁内推進本部・調整会議(平成26年2月20日)
 - 協議事項
 - ・平成25年度における計画及び事業の進捗
 - ・総括評価
 - ・計画の変更
 - ・歴史的風致形成建造物の指定
 - ・平成26年度事業

※降雪の影響により中止。資料配布による意見聴取。

- 歴史的風致維持向上計画協議会(平成26年2月26日開催)
 - 協議事項
 - ・平成25年度における計画及び事業の進捗
 - ・総括評価
 - ・計画の変更
 - ・歴史的風致形成建造物の指定
 - ・平成26年度事業



歴史的風致維持向上計画協議会

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	
都市計画の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

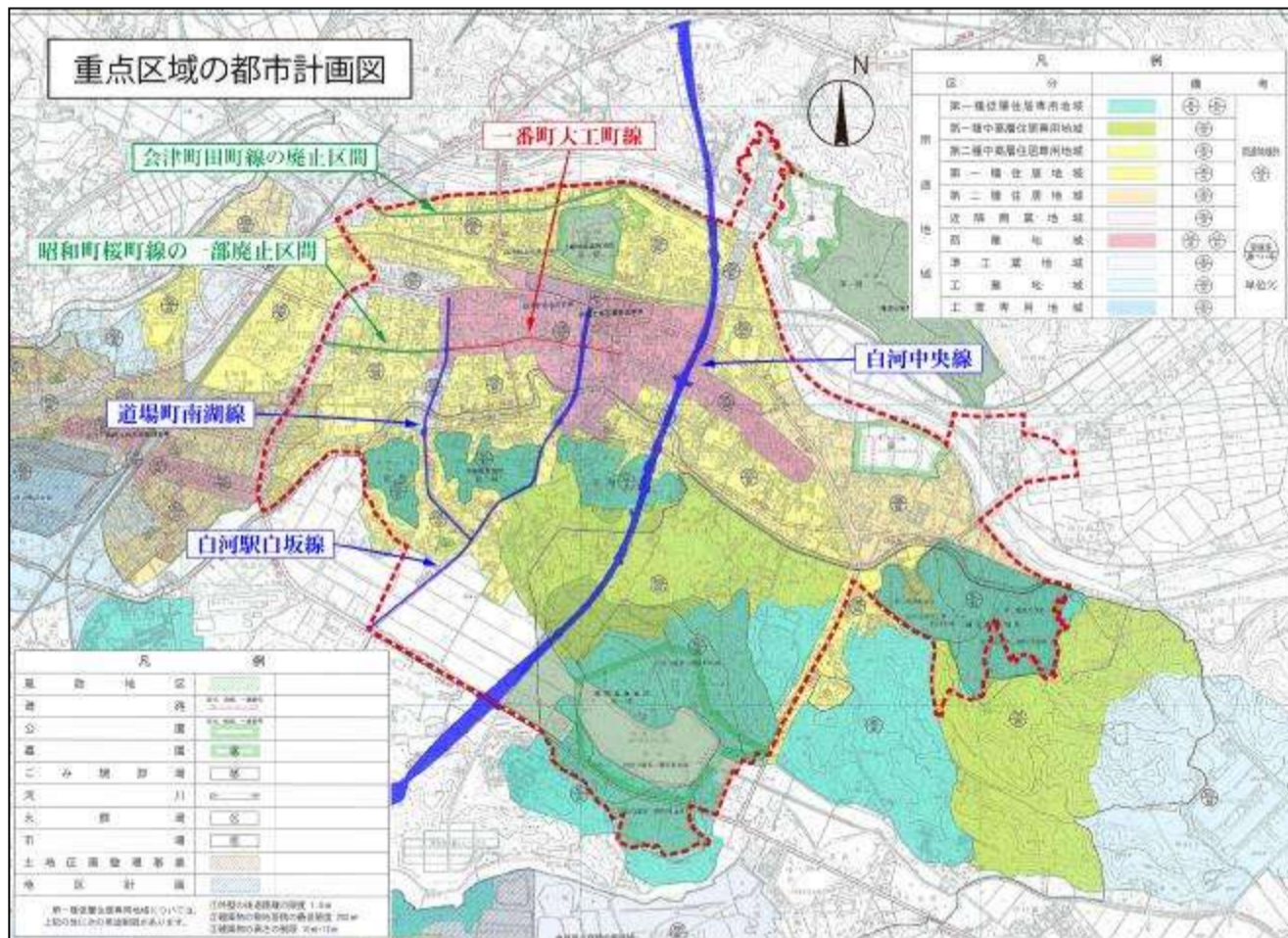
計画に記載している内容 都市計画道路の見直しにおいても歴史的町並みに配慮した計画及び整備を検討している。今後も、旧奥州街道や歴史的町並みに配慮した都市計画変更を検討する予定である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡小峰城跡の北側外堀近接地を東西に通過する都市計画道路会津町田町線については、都市計画法に基づく手続きにより、平成25年4月10日付けで廃止し、現道を整備することとした。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成25年度
景観計画の活用		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 景観計画では、小峰城跡・白河駅周辺地区と南湖公園周辺地区については、景観計画重点区域に指定し、建築物等の形態意匠や色彩・高さなどについて景観形成基準を設けており、将来的には都市計画法の景観地区の指定を目指す方針である。また、城下町地区については、景観計画推進区域に指定し、建築物等の高さ等の景観形成基準を設け、景観協定の導入等、住民との協働によるルールづくりを積極的に進めることを目指す地区としている。
 今後は、歴史的風致維持向上計画の重点区域と景観計画との整合を図るため、景観計画推進区域を当該重点区域まで拡大する方針である。

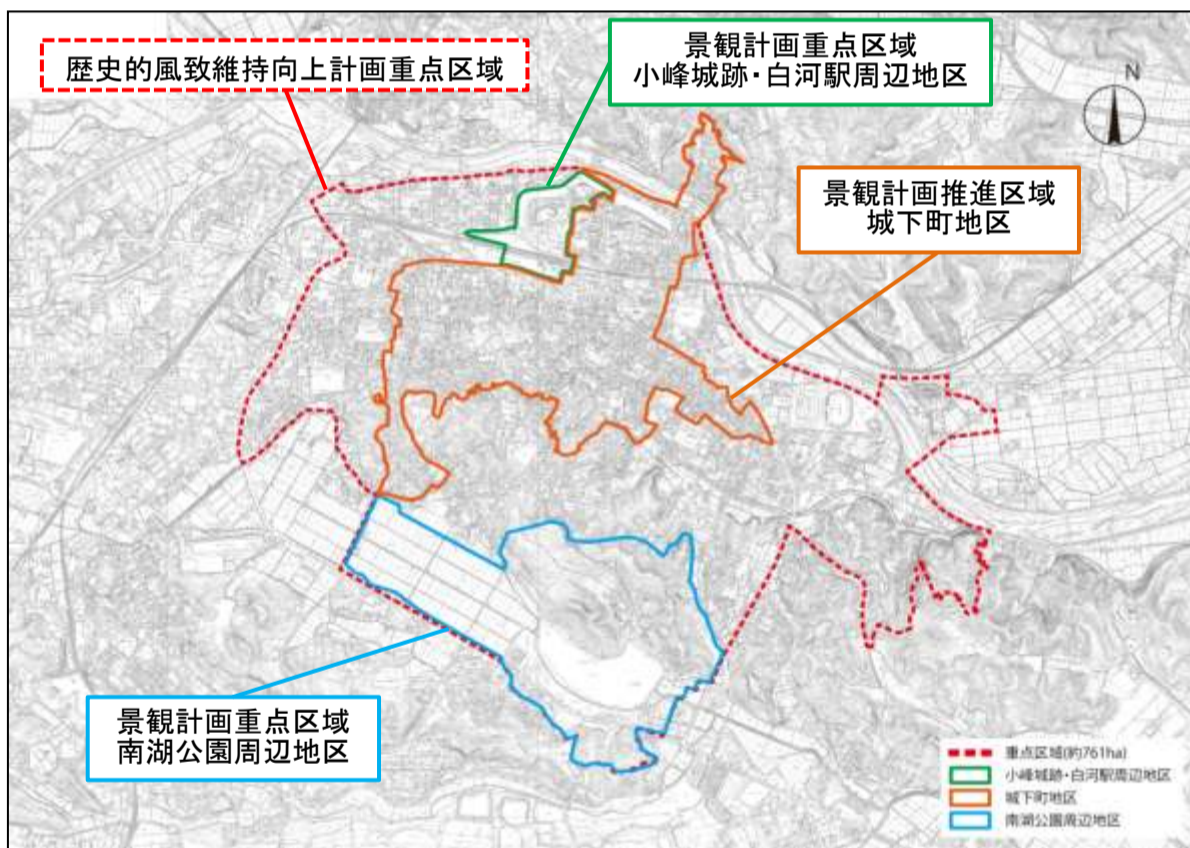
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観条例及び景観計画に基づき、建築物や工作物等の新築、増改築等の行為に関して適正な規制及び誘導を行い、景観計画区域内の良好な景観形成に努めた。

○平成25年度届出件数:46件(重点区域 2件、推進区域 2件 景観計画区域(重点・推進区域を除く) 42件)
 景観協定の締結を目指す「金屋町・愛宕町・大工町通り景観まちづくり協議会」に対し、活動経費の助成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



景観計画重点・推進区域図



まちづくり協議会ワークショップ



まちづくり協議会情報誌

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成25年度
--	--------	--------

項目	現在の状況
屋外広告物について	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 屋外広告物については、屋外広告物法及び福島県屋外広告物条例に基づき無秩序な表示や設置を防ぐ美観・風致の維持、良好な景観形成への寄与等のため規制を行っている。平成12年には屋外広告物の許可申請事務等について白河市に権限が委譲されているが、今後は、景観計画に基づき白河市独自の屋外広告物条例の制定を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

屋外広告物法及び福島県屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の設置に関して適正な規制及び誘導を行い、美観・風致の維持及び良好な景観形成に努めた。
 ○平成25年度許可件数:156件(新規 23件、更新 124件、変更 9件)

白河市独自の屋外広告物条例の制定に向け、屋外広告物の実態調査を実施し、現況及び課題を把握するとともに、屋外広告物に関する市民アンケート調査を実施し、市民意向の把握に努めた。また、白河の魅力をより高めるための屋外広告物のあり方について考え、独自の屋外広告物条例の制定に向けた検討を行うための「屋外広告物のあり方検討懇談会」を設置し、第1回会議を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



屋外広告物のあり方検討懇談会

- 屋外広告物のあり方検討懇談会(平成26年3月24日開催)
- 協議事項
- ・(仮称)白河市屋外広告物条例の制定について
- ・今後のスケジュールについて
- ・屋外広告物に関する市民アンケート調査結果について

【屋外広告物のあり方検討懇談会委員構成】

No.	所属等
1	東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科
2	白河市景観審議会
3	福島県屋外広告美術協同組合白河支部
4	白河市商店会連合会
5	NPO法人しらかわ建築サポートセンター
6	NPO法人子育て環境を考える虹の会
7	Ust白河
8	市民公募
9	市民公募
10	福島県土木部都市計画課

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業(小峰城跡災害復旧事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成23年度～
支援事業名	史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業補助金

計画に記載している内容
 平成23年度・平成24年度は、東日本大震災により崩落した石垣の記録化や石材の撤去作業を行いながら、崩落原因の究明と修復方法の検討を行った。平成25年度以降については、検証結果をもとに順次崩落箇所の修復を計画的に行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

東日本大震災により崩落した石垣の撤去作業が終了し、本丸南面の石垣積替え工事に着手した。月見櫓、搦手門、藤門、清水門の修復に向けた設計を行った。修復工事では、市内の石工職人等も作業に参加し、石積み技術者の育成に努めている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	石垣の修復にあたっては、伝統工法による技術研究も課題となっており、専門家で構成する石垣検討委員会の指導助言を得ながら、修復技術の検討を行っている。

状況を示す写真や資料等



石材撤去後の本丸南面



本丸南面法面の調整



一部石垣を解体した東側部分



本丸南面根石の状況



石垣検討部会

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
歴史的まちなみ修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 良好な町並み景観の保全を図るため、景観計画に基づき「景観形成ガイドライン」を策定し、これに基づく建造物の修景等に対する支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年度に策定した「景観形成ガイドライン」に基づき、建造物の外観修景等に対する支援を実施した。
 ○対象エリア: 景観形成ガイドラインAゾーン、金屋町谷津田川せせらぎ通り景観協定区域、白河城下景観まちづくり協定区域
 ○補助件数: 6件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的まちなみ修景事業の積極的な推進を図るため、補助制度の周知に努める必要がある。

状況を示す写真や資料等

店舗兼住宅の改修(外壁・屋根の改修)



施工前



施工後

外構の修景(数奇屋門の設置)



施工前



施工後

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
歴史的風致形成建造物保存修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 旧奥州街道や歴史的街路の沿道に所在する歴史的な建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、所有者等が行う建造物の修理等に要する費用の一部を助成し、歴史的建造物の保全と活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物に指定した建造物の修理等に対する支援について、NPO法人しらかわ建築サポートセンター(歴史的風致維持向上支援法人)との連携により実施した。

○歴史的風致形成建造物指定件数:37件95棟(平成26年3月末現在)

○補助件数:4件4棟

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

外壁補修



施工前



施工後

外壁補修



施工前



施工後

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
無電柱化事業(主要地方道白河停車場線)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(道路事業)

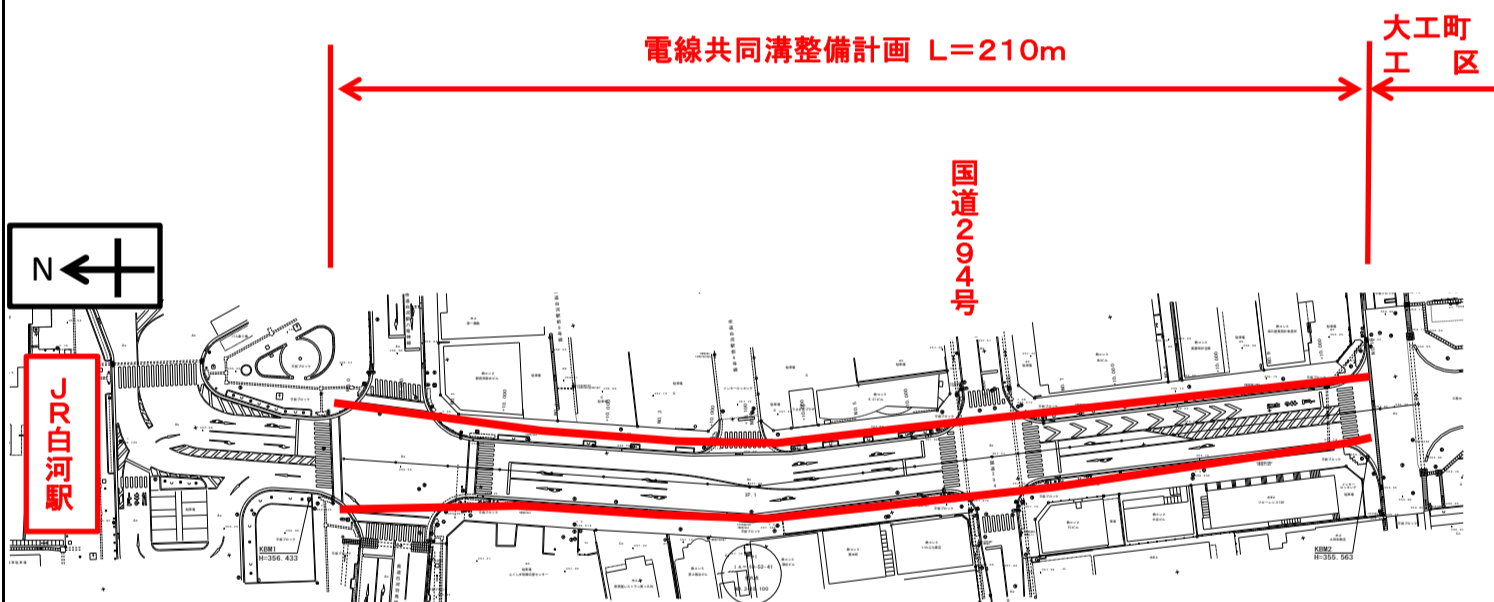
計画に記載している内容 主要地方道白河停車場線(大手町工区)は、鹿嶋神社祭礼(白河提灯まつり)の運行ルート、小峰城三重櫓を視対象とした視点場となっているが、電線・電柱類により、祭礼時の運営支障及び眺望景観が阻害されている。このため、無電柱化整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

電線共同溝整備に係る測量設計を実施した。また、電線管理者と道路占有者(上下水道、都市ガス)との協議を進めた。
○無電柱化施工延長(計画期間累計) 実施済み0m/計画延長210m(0%完了)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



無電柱化に伴う電線共同溝の整備状況



整備前



整備後イメージ

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
無電柱化事業(都市計画道路白河駅白坂線)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成20年度～平成25年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街路事業)

計画に記載している内容 都市計画道路白河駅白坂線(大工町工区)は、小峰城三重櫓を視対象とした視点場となっているが、電線・電柱類により、眺望景観が阻害されている。このため、幹線街路の整備に合わせて無電柱化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

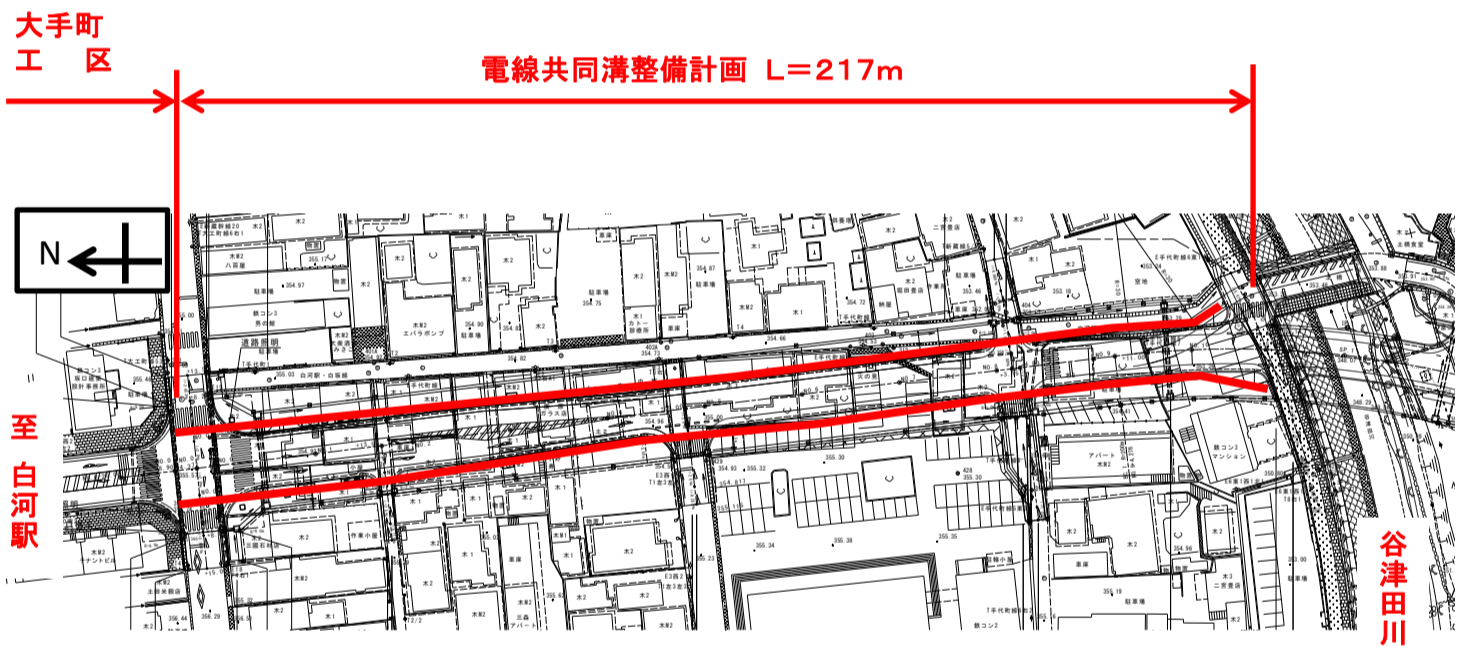
電線共同溝本体と連系設備の整備を実施した。なお、電線事業者による入溝及び抜柱作業は、平成26年度以降実施予定。

○無電柱化施工延長(計画期間累計) 実施済み217m/計画延長217m(100%完了)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



無電柱化に伴う電線共同溝の整備状況



整備前



整備後

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

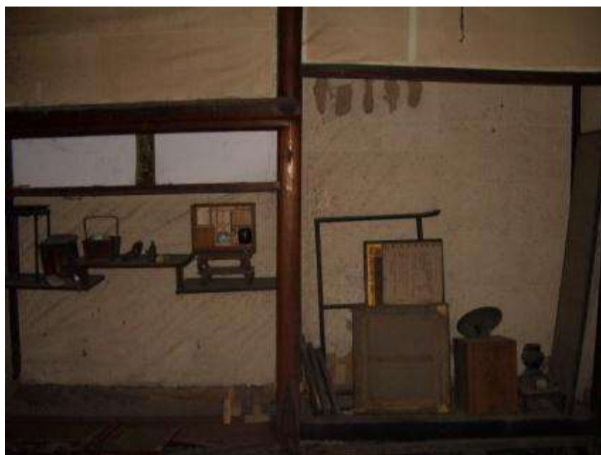
事業期間	平成24年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)
計画に記載している内容	明治天皇や新選組ゆかりの歴史的遺産である旧脇本陣柳屋旅館建造物群(歴史的風致形成建造物)について、老朽化の激しい蔵座敷の復元整備に向け、整備後の利活用等の検討を行う。検討結果をもとに、市が土地・建物を取得し、史実に基づき復元整備を行い、まちなか回遊の拠点として活用する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
蔵座敷の管理運営、利活用案について、関係機関(本町町内会、本町銀座会、本町地区まちづくり協議会、NPO法人しらかわ建築サポートセンター、福島県等)との協議を継続しながら、整備設計及び用地測量・不動産鑑定・物件調査を実施した。	

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	蔵座敷の利活用についての検討を引き続き実施し、必要に応じて整備内容の変更を行う。

状況を示す写真や資料等



古写真で見る蔵座敷内部



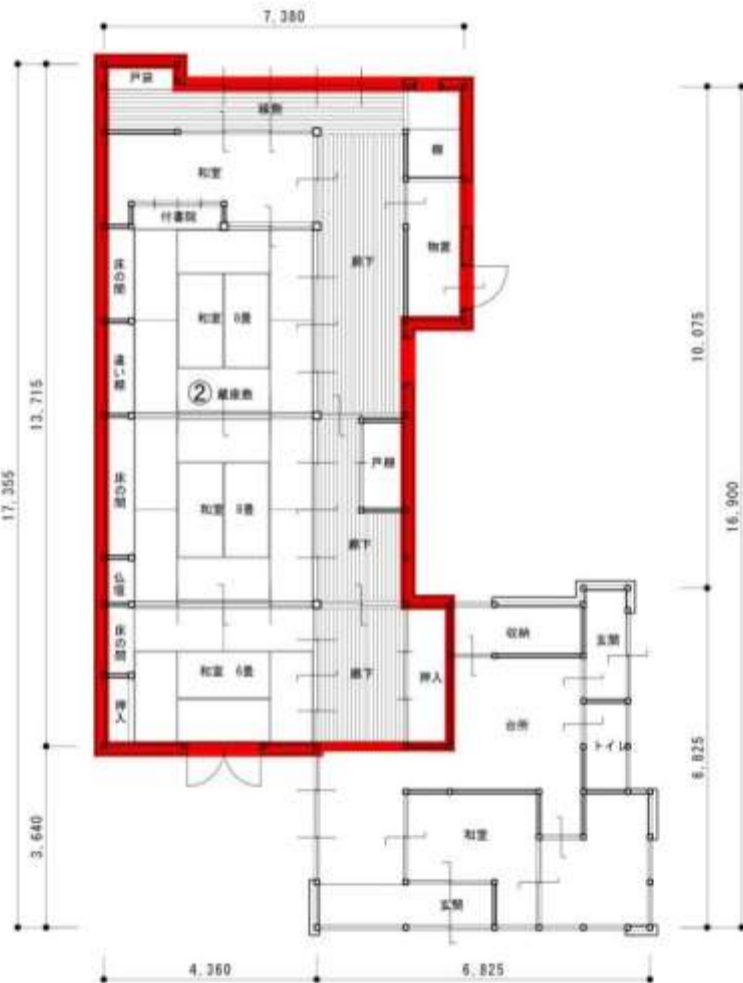
現在の蔵座敷内部



古写真で見る蔵座敷正面



現在の蔵座敷正面



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
屋外広告物景観影響調査等事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業と一体の効果促進事業)

計画に記載している内容
 良好なまちなみ景観の形成及び歴史的風致の維持向上を図るうえで重要な構成要素となる屋外広告物の表示について、現況調査や影響調査、問題課題の整理、規制のあり方の調査研究、事業者との合意形成活動等を行う。また、本事業により得た成果を反映させた独自の屋外広告物条例を制定するとともに、「屋外広告物表示のガイドライン」を策定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観計画重点区域及び推進区域等において、屋外広告物の表示・掲出に関する実態調査を実施した。これらの調査結果をもとに、屋外広告物の表示・掲出に関する問題点や課題の整理及び規制方針の検討等を行った。また、屋外広告物に対する市民意向を把握するため、屋外広告物に関するアンケート調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

■屋外広告物の実態調査

○調査区域

- ・景観計画重点区域
小峰城跡・白河駅周辺地区
南湖公園周辺地区
白河関跡周辺地区

・景観計画推進区域

- 城下町地区

- ・ランドマークとなる視対象への眺望景観に影響を及ぼす範囲

○調査項目

- ・屋外広告物の種類、高さ、面積、色彩、設置位置等



建植広告板の実測

■屋外広告物に関するアンケート調査

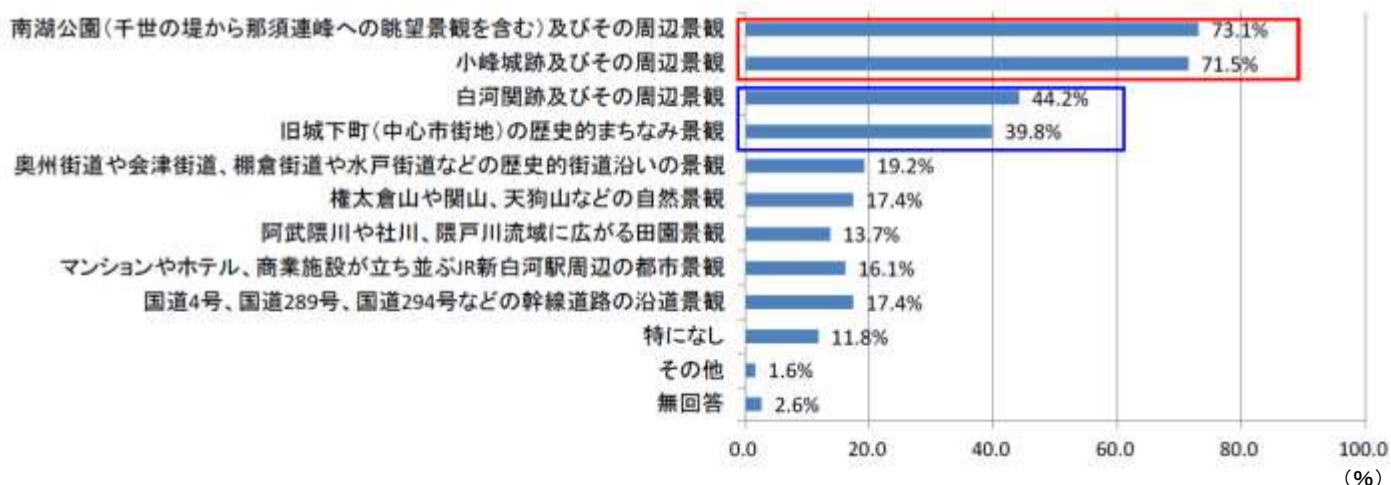
実施期間:平成25年10月25日(金)～11月15日(金)

対象者:市内在住の満20歳以上3,000人

回収状況:1,103件(回収率36.8%)

【調査結果(一部抜粋)】

問6 あなたは、白河らしい良好な景観を守りはぐくむため、現在制定中の「(仮称)白河市屋外広告物条例」において、屋外広告物の表示または設置を規制すべき景観はどこだと思いますか。(複数回答)



評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
しらかわ歴史回廊事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
歩行者系誘導サイン、道標等の案内施設整備を行うことにより、まちなか回遊性の向上を図る。まちなかに残る歴史的建造物、歴史的・文化的資源等を結んだ回遊ルートマップ等を作成し、年に数回の散策ツアー等を開催する。

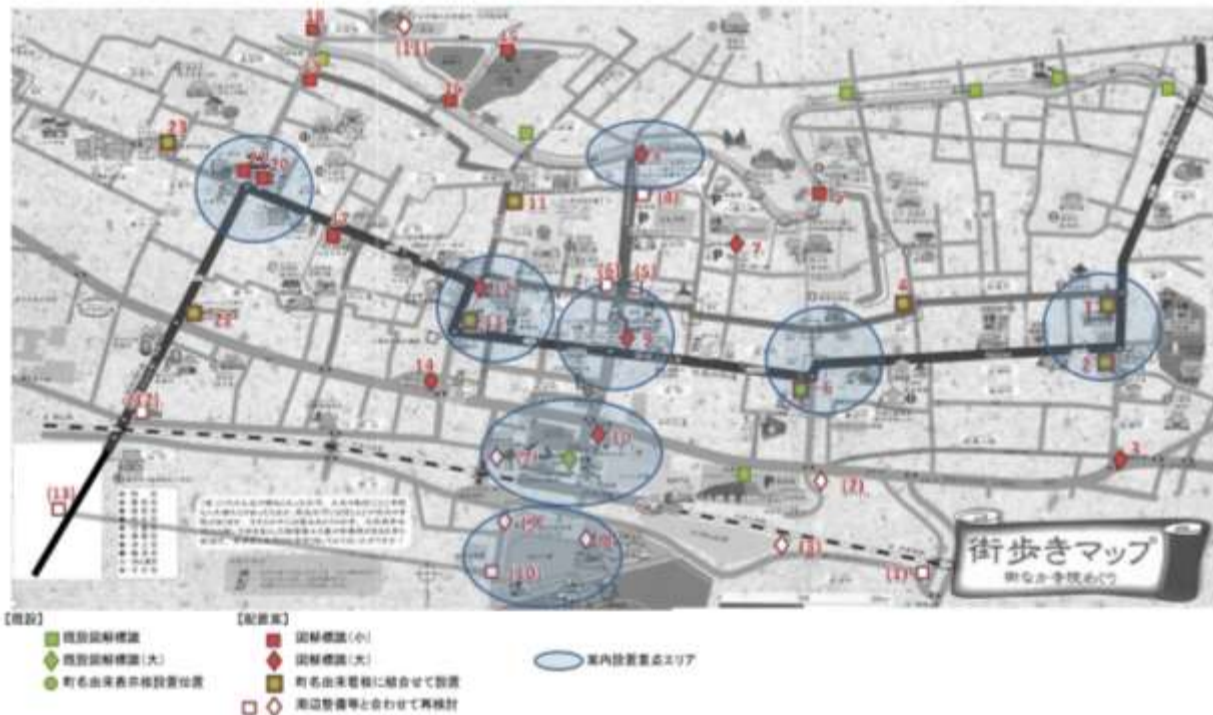
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歩いて楽しむ白河の歴史回遊ルートについて、既存の街歩きマップに歴史的資源等をプロットした資料を基に、関係機関(白河市中心市街地活性化協議会、白河観光物産協会、ツーリズムガイド白河、白河仏教会、白河市景観審議会、福島県等)と懇談会形式で検討作業を行い、歩行系誘導サイン設置計画を策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



歩行系誘導サイン設置計画



現地調査



ワークショップ

評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
丹羽長重廟周辺整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成25年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 丹羽長重廟(市指定重要文化財)を歴史的風致形成建造物に指定し、修復・保存を図る。また、廟周辺の園路の整備や、管理上及び景観上支障をきたしている森林等の間伐を行い、廟周辺環境の整備改善を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年度に実施した設計に基づき、廟本体の修復工事を実施した。(繰越事業:平成26年7月31日完成予定)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



丹羽長重廟(施工前)



床板・大引・根太撤去 完了



揚舞完了



地覆材交換・柱根継 完了

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
小南湖公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～
支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 白河藩大名家墓所(市史跡)が所在する小南湖の丘陵地について、丹羽長重廟に至る園路の整備や森林等の間伐、湖沼の浚渫等を行い、まちなか回遊の拠点となる史跡公園として整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

現況把握及び整備手法の検討を行うため、現地測量、植物・水生生物調査を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



小南湖全景



小南湖周辺の繁茂状況



底生生物調査状況



植物調査状況

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
都市計画道路一番町大工町線(教会坂通り)整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度～平成26年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街路事業)

計画に記載している内容 都市計画道路一番町大工町線(教会坂通り)は、歴史的な町並みを活かして進められている歩車共存道路であり、既に完了している歩行系街路とともに歩行系ネットワークの形成を図る。

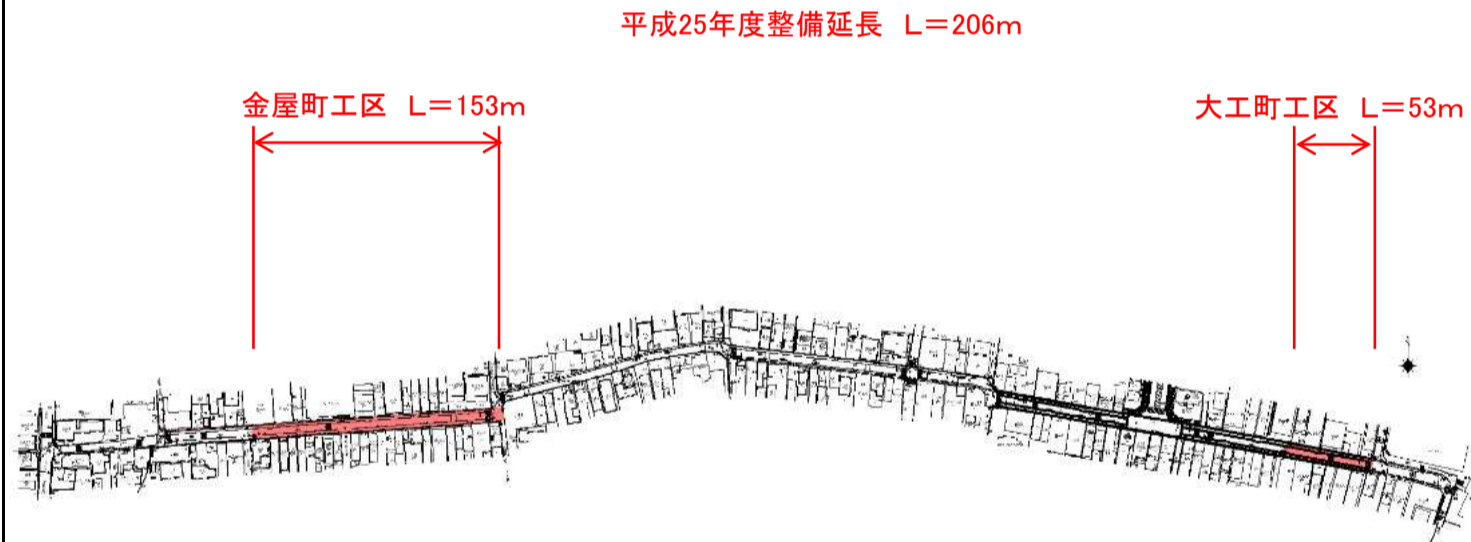
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大工町及び金屋町において、石畳舗装の整備を実施した。
また、沿線3町内による「金屋町・愛宕町・大工町通り景観まちづくり協議会」が開催され、景観協定の締結を目指す取り組みが行われた。

○平成24年度まで整備延長 : L=455m、平成25年度整備延長 : L=206m、全体整備延長 : L=823m(進捗率: 80.3%)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



整備前



整備後(石畳による舗装)

評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
(仮称)都市計画道路乙姫桜プロムナード2号線整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成28年度
支援事業名 市単独事業

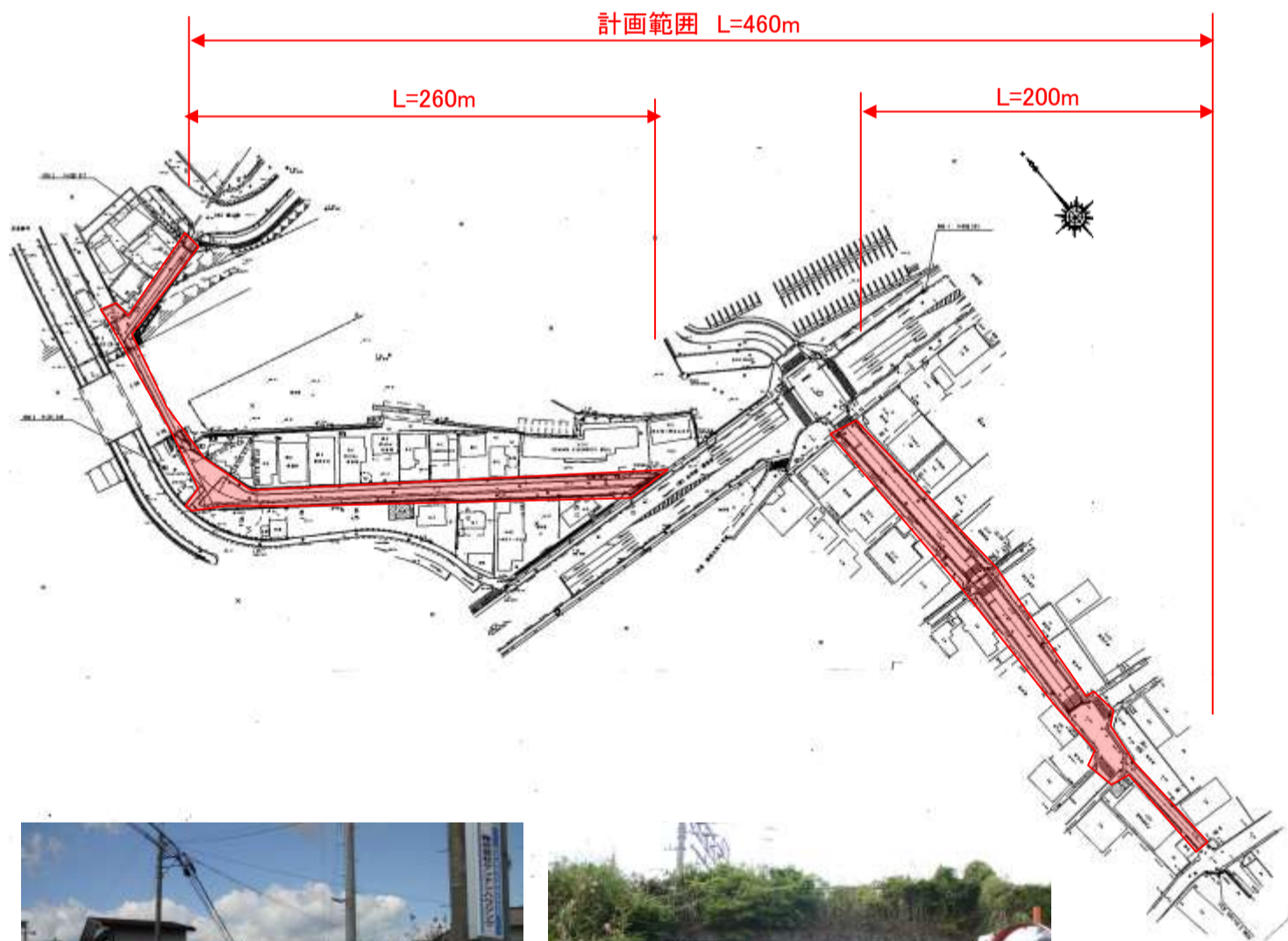
計画に記載している内容 (仮称)都市計画道路乙姫桜プロムナード2号線は、歴史的な町並みを活かして進められている歩車共存道路であり、既に完了している歩行系街路や現在整備中の歩行系街路とともに歩行系ネットワークの形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

現況測量及び設計等を実施するとともに、沿線住民に対して事業説明会を実施した。また、都市計画決定変更を行うため、関係機関と協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



整備前



整備前

評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
無形民俗文化財活動記録作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成23年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 地域に根差した民俗・芸能活動は、住民の生活の一部を形作っていたものであることから、現状での活動内容について、詳細な調査を行い、活動記録の保存を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

民俗・芸能活動について、活動内容の詳細な調査を行うとともに、映像による活動の記録化に着手した。(11団体)併せて、写真による活動内容の記録も行った。(11団体)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	夜間に行われる活動については、機器の精度の問題もあり、新たな記録化の方法を検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等



中ノ沢権現梵天祭(表郷地域)



中新城盆踊り(大信地域)



八幡宮下熊野講(表郷地域)

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
しらかわ無形民俗芸能等支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 無形民俗文化財の保存団体を対象に、民俗芸能等に用いる用具類の新規購入や修繕、活動の公開事業に対して財政支援を行うとともに、支援事業の存在を広く周知し、支援団体の拡充を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

無形民俗芸能等活動は、後継者不足が加速し活動停止となる事例が増加しているため、申請に基づき14団体を対象に、道具等の補修・購入や活動の財政的支援を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



板倉の天道念仏(東地域)
板倉青年会:太鼓の補修



釜子の盆踊り(東地域)
釜子青年統一会:用具類の購入



芳賀須内の虫干神楽
芳賀須内青年会:用具類の購入

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	25年度
項目		現在の状況	
白河歴史教科書作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業と一体の効果促進事業)

計画に記載している内容 白河の歴史と伝統に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るため、歴史の手引きの製作を行う。さらには、「(仮称)しらかわ検定」の開催を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

白河歴史の手引き「れきしら」入門編を市内各小・中学校への配布や図書館や公民館、文化センター等の公共施設への配置および一般への有料販売等を行うことにより周知を図った。また、市内の小学校2年生から中学校2年生を対象に行われている「白河の歴史 再発見！事業」においても「れきしら」を活用し、白河の歴史と伝統に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



白河歴史の手引き「れきしら」入門編

■白河歴史の手引き「れきしら」販売実績

- ・販売期間:平成25年10月1日～平成25年12月31日
- ・販売数:492冊

評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
ぐるり白河文化遺産めぐり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成21年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	地域の歴史的・文化的資源の価値を再認識する機会を創出するため、城下町ゾーンの寺社を中心に、あわせて歴史的・文化的資源をチェックポイントとするスタンプラリーを開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

ぐるり白河文化遺産めぐりスタンプラリー期間中、オリジナル図柄のスタンプを寺院等に配置し、春は「桜の名所と戊辰めぐり」をテーマに、座禅・写経体験や、戊辰戦争ゆかりの地を巡るツアーを開催した。秋は、「お寺巡りコース・戊辰巡りコース」を設定し、ツアーを開催する予定であったが、台風の影響により中止となった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	寺院を巡る際の「御朱印」記帳については、各寺院の足並みが揃っていないことから、関係機関と調整を図る必要がある。

状況を示す写真や資料等



ぐるり白河文化遺産めぐりスタンプラリー台紙



戊辰戦争「白河口の戦い」の激戦地・稲荷山見学



関川寺での写経体験

《ぐるり白河文化遺産ツアー「桜の名所と戊辰めぐり」》

- 開催日:平成25年4月20日(土)
- 参加者数:62名

《ぐるり白河文化遺産ツアー「写経・座禅コース・戊辰と八重コース」》

- 開催日:平成25年10月26日(土)
- ※台風の影響により中止

《ぐるり白河文化遺産ツアーアンケート集計結果(抜粋)》

- 参加した感想:良かった 100%
- 自由意見
 - ・あまり知らない街にきて体験できたこと嬉しかったです。
 - ・小峰城の復興の段階などを見てみたい。
 - ・白河の歴史について分かりやすく説明していただき理解できた。
 - ・地元に住んでいながら新たな発見ができた。

評価軸③-16
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成25年度 現在の状況
白河の歴史 再発見！事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	白河の歴史についての知識と見聞を広め、白河の歴史への興味を喚起するとともに、自分の生まれ育ったまち・しらかわを愛する心を育てるため、市内の小学校2年生から中学校2年生を対象に、「白河歴史教科書」を活用しながら、白河の歴史や伝統文化等についての学習を体系的に行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
白河の歴史や伝統文化等について各学年ごとにテーマを設け、白河茶道連盟、ツーリズムガイド白河等の協力を得ながら学習を行った。なお、小学校6年生のテーマ「白河の歴史を探検する」では、平成24年度に発行した白河歴史の手引き「れきしら」入門編を活用した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



「伝統文化にふれる」
白河茶道連盟の協力による茶道体験(関辺小5年生)



「白河の歴史を探検する」
れきしら入門編の活用(五箇小6年生)



学習成果を壁新聞にまとめ、市立図書館に展示

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	

文化財の修理(整備を含む)

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 文化財の状況を常に把握した上で、法令に基づき適切な保存を図るとともに、計画的な修理・整備を行う。また、専門的な指導・助言を得ながら、文化財が持つ歴史的価値の保持に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国指定史跡「小峰城跡」の石垣崩落石材の撤去作業及び石垣積替え工事を実施した。(5頁参照)
 国指定史跡及び名勝「南湖公園」の御影の島について、亀裂、陥没箇所の補修や護岸詰杭の設置を実施した。
 市指定史跡「貞順院墓及び松平定業墓」について、倒壊した玉垣や灯籠の修復を実施した。
 無形民俗文化財については、活動内容の確認を行い、活動等に対する支援を実施した。(17・18頁参照)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

「貞順院墓」の修復



修復前



修復後

「御影の島」の修復



修復前



修復後

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財の保存・活用を行うための施設として、歴史民俗資料館、集古苑を設置しており、収蔵史資料の調査分析、保存及び公開を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史民俗資料館では、常設展示「白河の歴史と文化」のほか、「白河ゆかりの作家たち」など5回のテーマ展を開催した。集古苑では、特別企画展「新島八重展」など7回のテーマ展を開催した。また、テーマ展にあわせ、展示解説会を実施した。老朽化した文化財誘導案内板1基の修繕を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

■歴史民俗資料館

企画展示室		
展示内容	会期	解説会
テーマ展「白河ゆかりの作家たち」	4/19～6/23	○
テーマ展「碑拓本展」	7/5～9/23	○
テーマ展「屏風絵の世界」	10/4～11/24	○
テーマ展「新春を祝う」	12/6～H26.1/26	○
テーマ展「むかしの暮らしと道具」	2/7～4/13	○

常設展示室		
白河の歴史と文化	通年	

■白河集古苑

展示内容		会期	解説会
結城家古文書館	阿部家名品館		
重要文化財 白河結城家文書と 中世の美術	企画展 桜・さくら	3/28～5/12	
	伝来の遺宝とゆかりの刀剣	5/16～7/28	
行田市・桑名市・白河市友好都市提携15周年記念三市合同企画展 「武門の縁ー忍・桑名・白河、幕末への軌跡ー」		8/10～9/1	○
特別企画展「新島八重展」		9/20～11/4	○
重要文化財 白河結城家文書と 中世の美術	伝来の遺宝と絵画・陶磁器	11/15～H26.1/19	
	伝来の遺宝と阿部家歴代	1/23～3/23	
	企画展 桜・さくら	3/27～5/11	

■来館者数(平成26年3月末現在)

- 歴史民俗資料館 3,500人
- 白河集古苑 14,840人



テーマ展「白河ゆかりの作家たち」



「武門の縁ー忍・桑名・白河、幕末への軌跡ー」
展示解説会

文化財誘導案内板の修繕



修繕前



修繕後

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	

文化財の防災	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------	---

計画に記載している内容
 文化財防火デーに併せた火災防御訓練の実施や訓練への住民参加に積極的に取り組み、所有者のみならず周辺住民の文化財防災に関する意識向上を図る。また、盗難に対する施設内の設備の現状確認を実施し、盗難予防に対する意識付けを強化していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財防火デーにあわせ、市指定文化財「鹿嶋神社神輿」を保管し、歴史的風致形成建造物である「最勝寺観音堂」及び「隨身門と回廊」が所在する鹿嶋神社において、防火訓練を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	さらなる防災体制の強化に努めるとともに、地震や盗難等に対する防災計画策定の検討が必要である。

状況を示す写真や資料等



文化財防火デー
 (平成26年1月26日:鹿嶋神社)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
--	--------	--------

項目	現在の状況
文化財の保存及び活用の普及・啓発	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財を広く市民へ公開し、文化財保護精神の普及・啓発を図るため、ホームページを通じて指定文化財を分かりやすく紹介するほか、文化財の誘導・説明板の設置を進める。また、出前講座や各団体の学習会等に積極的に講師派遣を行うなど、文化財に対する知識・理解の高揚に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

東日本大震災により崩落した小峰城跡の石垣修復に対する理解や関心を深めるため、工事の進捗状況や小峰城跡の様子などを一般公開した。(3回開催)
 市内の小・中学校で実施している「白河の歴史 再発見! 事業」に文化財課職員を講師として派遣し、文化財の普及・啓発に努めた。
 中央公民館主催事業「文化財教室」において、文化財についての学習や史跡巡り等を実施し、文化財の普及・啓発に努めた。(9回開催)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	小峰城跡の修復については、一般公開の機会を増やす必要がある。

状況を示す写真や資料等



小峰城跡石垣修復箇所の一般公開
 (平成26年1月19日)

- 小峰城跡石垣修復箇所一般公開参加者数
- 平成25年12月15日(日) 110名
- 平成26年 1月19日(日) 162名
- 2月16日(日) 大雪のため中止
- 3月16日(日) 233名



白河の歴史 再発見! 事業「白河の古代を調べる」
 文化財課職員による土器の説明(東中1年生)



文化財教室「白河地区の文化財・史跡めぐり」
 (平成25年11月29日開催)

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
白河の歴史学ぶきっかけに 手引き「れきしら」作成	H25.4.19	福島民報
小峰城遺構整備事業が完了	H25.4.20	福島民報
白河の小峰城道場門遺構 史跡整備完了祝う	H25.4.21	福島民友
児童、茶道の歴史学ぶ 白河市教委が「再発見」事業	H25.5.22	福島民友
茶道の作法学んだよ！ 白河市児童対象の教室始まる	H25.5.24	福島民報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づき実施した「白河歴史教科書作成事業」や「小峰城道場門遺構整備事業」、「白河の歴史再発見！事業」の実施状況等が新聞に掲載され、歴史まちづくりに対する関心が高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	地元の歴史・文化に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るため、新聞等のメディアを通じて歴史まちづくりの取組みを積極的にPRする必要がある。

状況を示す写真や資料等

白河の歴史学ぶきっかけに 手引き「れきしら」作成

白河の歴史をまとめた「れきしら」

名所や行事紹介 市、小中学校などに配布

白河市はこのほど、白河の歴史の手引き「れきしら」入門編を作成した。国史跡小峰城跡や南湖公園、旧城下町の町並みなどの歴史の資源や、白河提灯まつりをはじめとした伝統行事が紹介されており、一読すれば古里の歴史通になれるそう

「れきしら」は歴史と白河、調べるなどのキーワードをもとに5判、フルカラー百二

したタイトル。エリアごとにまとめた「歴史を深そう」のページと、テーマごとにまとめた「歴史を学ぼう」の二部構成となっている。「歴史を深そう」は小峰城、南湖、奥州街道など八つのエリアを取り上げた。歴史のほかエピソードも細かく紹介している。「歴史を学ぼう」では「歴史を学ぼう」では白河提灯まつりや白河だるま市などの伝統行事を多角的に解説した。古代から現代までの通史総論にもページをさいている。A5判、フルカラー百二

千部発行し市内の小中学校、図書館などに配布した。市教委が平成二十四年度にスタートさせた「白河の歴史再発見」事業に役立てる予定だ。

歴史まちづくり法にもとづき、二十三年二月に国認定を受けた「白河市歴史的風致維持向上計画」に盛り込まれた白河歴史教科書作成事業として、国の補助金を使って昨年八月に制作に着手した。市は今年度、れきしらの上級編を制作する。

平成25年4月19日 福島民報

白河の小峰城道場門遺構 史跡整備完了祝う

発掘石垣そのまま保存

白河市の小峰城道場門遺構整備事業の竣工記念式典は19日、同市の「白河駅前イベント広場」で行われ、関係者が、歴史のまち「白河」を愛する市民の歴史の整備を祝った。

市によると、道場門は約300年前の白河藩主戸時経邦による城郭の大改修時に、小峰城跡南西部に設けられた出入口。1995(平成7)年度から99年(平成11)年度にかけて市が行った門跡周辺部の発掘調査で外堀跡、道場小築跡なども確認された。市街地に残された城郭遺構としては貴重なものという。

2011(平成23)年に県内で初めて国の認定を受けた「白河市歴史的風致維持向上計画」の一環で、道場門が果たした歴史的役割を市民らに知ってもらい、

中心市街地の歴史的風致維持、向上を図ることの補助を受け、11、12年度に整備を進めてきた。

遺構を保存しながら活用する露出展示の手法を採用し、地下に残っていた江戸時代の遺産を生かした遊歩道を整備、発掘されたままの状態で石垣を展示することができた。総事業費は約600万円。

式典では、鈴木和夫市長が「復興の光を城郭から発信する象徴として整備ができてうれしく思う」と式辞を述べた。続いて関係者がテープカットで整備完了を祝った。

平成25年4月21日 福島民友

評価軸⑤-2
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
蔵や古い店舗の歴史に思い 白河まちなか景観ウォーク	H25.6.7	福島民報
昔の暮らし再発見！東中 白河の古代、中世史学ぶ	H25.9.13	福島民報
白河の歴史、見所一冊に「れきしら入門編」市が販売開始	H25.10.3	福島民報
石垣復旧へ本格始動 白河の国史跡「小峰城跡」	H25.10.22	福島民友
石垣復旧工事安全祈る 白河の小峰城跡 28年度までに完了へ	H25.10.22	福島民報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

白河まちなか歴史景観「蔵ウォーク」の実施状況が新聞に掲載され、歴史的資源を活かしたまちづくりに対する関心が高まった。また、歴史的風致維持向上計画の核となっている史跡「小峰城跡」について、石垣修復に関する話題等が新聞に掲載され、小峰城跡の復興に対する関心が高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	地元の歴史・文化に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るため、新聞等のメディアを通じて歴史まちづくりの取組みを積極的にPRする必要がある。

状況を示す写真や資料等

白河市教委が今年度実施している「白河の歴史 再発見!事業」にちなみ12日、東中で古里の歴史をテーマにした授業が行われた。市立図書館ロビーでは児童の学習成果物展示が始まった。

昔の暮らし再発見!

東中 白河の古代、中世史学ぶ

東中での授業は一年生七十六人を対象に行われた。小峰城跡をはじめ市内で多くの遺跡の国史跡指定に関わった市文化財課主任兼課長補佐兼史跡整備係長の鈴木功さんを講師に招いた。

鈴木さんは画像を使って白河市の古代・中世史を説明した。東地域の発見され、数多くの副葬品が出土したことで知られる芹内(さとうち)古墳なども紹介した。生徒たちに市内で発掘された数千年前の縄文式土器、弥生式土器などの実物に触れてもらい、当時の生活への考えを深めてもらった。

学習成果展示も図書館の学習成果物展示では釜子、表郷、前の縄文式土器、弥生式土器などの実物に触れてもらい、当時の生活への考えを深めてもらった。

平成25年9月13日 福島民報

蔵や古い店舗の歴史に思い

白河まちなか景観ウォーク

第七回白河まちなか歴史景観ウォークは一日、白河市内で行われた。白河市とNPOシラかわ建築サポートセンターの主催。歴史まちづくり計画に基づき歴史的風致形成建造物に指定された建物を見学してもらう目的で開催した。市民五十人が参加した。二班に分かれ市役所

市内を散策する参加者

平成25年6月7日 福島民報

土器にドキドキ

小峰城石垣などについて発表した「壁新聞」

石垣崩落と改修準備の様子、市内の歴史遺産を観察しまとめた壁新聞を紹介している。いずれも写真を多用するなど工夫されている。

五小学校の展示は二十四日まで。二十六日からは白河一、白河三、関辺の各校児童の展示に切り替わる。

みさか、白河五、大屋の各児童が小峰城の

をスタート。ツーリズムガイド白河の観光案内ポランディアの説明を聞きながら市内を散策、天神町に残る蔵や古い店舗を見学した。

評価軸⑤-3
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
市街地活性化を探る 白河・景観まちづくりシンポジウム	H25.11.25	福島民友
景観、活性化で意見 白河でシンポ 4人のパネリスト	H25.11.25	福島民報
小峰城跡修復を継続 白河の歴史的風致向上計画協	H26.2.28	福島民友
歴史的風致維持へ一丸 白河で向上計画協議会	H26.2.28	福島民報
歴史的風致形成建造物 白河の長田美容院 震災の被害を修復	H26.3.10	福島民報
市の「歴史的風致形成建造物」白河の長田美容院 被災乗り越え営業	H26.3.12	福島民友

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観を守り、育て、将来に向けてより美しい白河を築き、地域の活性化に繋げていくために開催した「景観まちづくりシンポジウム」が新聞に掲載され、景観まちづくりに対する関心が高まった。また、歴史的風致維持向上計画協議会の話題が新聞に掲載され、歴史まちづくりの取組みについて広く周知を図ることができた。さらには、歴史的風致形成建造物に指定し、「歴史的風致形成建造物補助金」を活用して修復を実施した建造物の話題が新聞に掲載され、歴史的建造物の保全・活用に対する関心が高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

地元の歴史・文化に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るため、新聞等のメディアを通じて歴史まちづくりの取組みを積極的にPRする必要がある。

状況を示す写真や資料等



小峰城跡修復を継続
形成建造物 2件を追加指定へ

白河の歴史的風致向上計画協

委員ら、有賀会長のあいさつに耳を傾ける

平成26年2月28日 福島民友



歴史的風致形成建造物 白河の長田美容院
あす再オープン

震災の被害を修復

長田美容院の前を立つ(右から)長田裕子さん、信一郎さん夫妻

平成26年3月10日 福島民報

評価軸⑥-1
その他

	評価対象年度	平成25年度
--	--------	--------

項目

歴史的風致維持向上推進等調査「地域で循環する歴史的建造物の修理システムの構築」

計画に記載している内容
東日本大震災により屋根瓦や土壁崩落など甚大な被害を受けた歴史的な建造物の修理等に際し、伝統工法に係る材料調達や職人不足の課題が浮き彫りになったことから、地域の材料、地域の職人、地域固有の工法で修理する持続可能な修理システムを構築するため、モデル修理工事の実施や専門家を招いた研究会の開催等により、修理工法の開発等や職人等の人材育成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

NPO法人しらかわ建築サポートセンター(歴史的風致維持向上支援法人)が主体となり、歴史的風致維持向上推進等調査を活用し、土蔵をモデルとした修理工事の実施や専門家を招いた勉強会の開催、歴史的建造物の所有者を対象とした新工法についての意識調査を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

計画の進捗に影響あり
 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



木造軸組模型を用いた講習会
(平成25年11月16日)



模型を用いた新工法の講習会
(平成25年12月7日)



瓦についての講習会
(平成25年12月14日)



土蔵における新工法施工状況

評価軸⑥-2
その他

	評価対象年度	平成25年度
--	--------	--------

項目

白河まちなか歴史景観「蔵ウォーク」の開催、景観まちづくりシンポジウムの開催

計画に記載している内容 なし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

《白河まちなか歴史景観「蔵ウォーク」》
 白河に残る歴史的な建物やまちなみなどの歴史資源を広く公開することで身近な資源を活かしたまちづくりへ繋げるため、白河まちなか歴史景観「蔵ウォーク」を開催し、歴史的建造物の修理事例や周辺に残る歴史資源を紹介した。
 《平成25年度景観まちづくりシンポジウム》
 景観を守り、育て、将来に向けてより美しいふるさと白河を築き、地域の活性化に繋げていくため、「景観まちづくりシンポジウム」を開催した。(平成25年11月23日(土)来場者150名)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

《白河まちなか歴史景観「蔵ウォーク」》



今井醤油店建造物群(歴史的風致形成建造物)を見学
(平成25年6月1日:49名参加)



修復工事中の丹羽長重廟を見学
(平成25年11月16日:25名参加)

《平成25年度景観まちづくりシンポジウム》



第1部 基調講演「景観からのまちづくり」
 ～景観の理論とそれを使った活性化のまちづくり～
 東京大学 アジア生物資源環境研究センター
 教授 堀 繁 氏



第2部 パネルディスカッション
 「白河における景観まちづくり」
 ～景観による地域の活性化を目指すために～

評価対象年度	平成23 年度～ 25 年度
計画に記載している方針	<p>連続性のある歴史的町並み景観の形成を図るとともに、歴史的建造物については、保存・活用についての検討を行う。また、無電柱化の推進や屋外広告物の規制についてもあわせて検討を行う。</p>
計画に記載している課題	<p>歴史的建造物の担い手不足や老朽化等により、歴史的建造物が年々減少傾向にあり、城下町の面影が徐々に失われている。 歴史的建造物については調査が十分に行われておらず、分布状況やその価値が明らかとなっていないものが多い。 さらには、電線類が良好な景観を阻害するばかりでなく、白河提灯まつりの運行に支障をきたしている。</p>
対応する進捗評価項目とその推移	<p>②都市計画の活用 都市計画道路会津町田町線を廃止し、現道を整備することとした。</p> <p>②景観計画の活用 景観計画及び景観条例の運用により、良好な景観形成に努めた。また、景観計画に基づく「景観形成ガイドライン」を策定した。</p> <p>②屋外広告物について 白河市独自の屋外広告物条例の制定に向け、屋外広告物の実態調査や市民アンケート調査を実施した。また、独自条例の検討を行う「屋外広告物のあり方検討懇談会」を設置した。</p> <p>③歴史的まちなみ修景事業 景観形成ガイドラインに基づき、建造物の外観修景等に対する支援を実施した。(H24:2件、H25:6件)</p> <p>③歴史的風致形成建造物保存修景事業 NPO法人しらかわ建築サポートセンター(歴史的風致維持向上支援法人)と連携し、歴史的風致形成建造物の修理等に対する支援を実施した。(H23:11件14棟、H24:6件9棟、H25:4件4棟)</p> <p>③無電柱化調査事業 祭礼等の開催場所、小峰城跡三重櫓を視対象とした視点場となっている主要な路線について現況調査を実施した。</p> <p>③無電柱化事業(主要地方道白河停車場線) 電線共同溝に係る測量設計を実施した。また、電線管理者と道路占有者との協議を進めた。</p> <p>③無電柱化事業(都市計画道路白河駅白坂線) 電線共同溝本体と連系設備の整備を実施した。</p> <p>③旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業 旧脇本陣柳屋旅館建造物群を歴史的風致形成建造物に指定し、復元整備に向けた設計や用地測量等を実施した。また、復元後の管理運営、利活用について、関係機関と協議を行った。</p> <p>③屋外広告物景観影響調査等事業 景観計画重点区域及び推進区域等において、屋外広告物の実態調査や課題の整理等を行った。また、屋外広告物に関する市民アンケート調査を実施した。</p> <p>③丹羽長重廟周辺整備事業 丹羽長重廟を歴史的風致形成建造物に指定し、廟の修復工事を実施した。また、廟に至る園路の整備や廟周辺の樹木について間伐を行った。</p> <p>③小南湖公園整備事業 現地測量、植物・水生生物調査を実施し、整備手法の検討を行った。</p> <p>⑥白河まちなか歴史景観「蔵ウォーク」 「蔵ウォーク」を開催し、歴史的建造物の修理事例や周辺に残る歴史資源等を紹介した。</p>

<p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p>	<p>白河の歴史的まちなみ景観を形成する重要な要素である歴史的建造物については、図面作製や建物の由緒の聞き取り調査を実施し、順次、歴史的風致形成建造物への指定を進めた。また、これにあわせて補助制度を創設し、積極的に建造物の修理等に対する支援に努めた結果、東日本大震災後、急速に取り壊しが進められることが懸念された歴史的建造物の保全が図られ、歴史的まちなみ景観の喪失に歯止めをかけることができた。</p> <p>また、今まで明らかとなっていなかった建造物についての歴史的な価値付けが行われたことにより、所有者の意識にも変化が見られ、歴史的建造物の保全につながっている。さらには、蔵ウォーク等において、歴史的風致形成建造物の積極的な公開・活用を図っており、身近な歴史的資源に対する市民の理解と関心が高まりつつある。</p> <p>一般住宅等の修景整備に対して財政的支援を行う「景観まちづくり補助金」の申請者も増加傾向にあり、今後、歴史的建造物と一体となった連続性のあるまちなみの形成が期待される。また、景観に大きく影響する無電柱化や白河市独自の屋外広告物条例の制定に向けた取り組みも着実に推進している。</p> <p>震災の翌年には、延期となっていた「白河提灯まつり」が開催され、震災前とほぼ変わらぬ歴史的まちなみを背景に繰り広げられる白河の伝統的な祭礼行事は人々の記憶に残るものとなり、復興に向けまちが大いに活気づくとともに、地域の誇りや郷土愛の醸成にもつながっている。</p>
<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<p><input type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している <input checked="" type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項) 歴史的町並み景観の形成をさらに推進するため、景観まちづくり補助制度の積極的な周知に努める必要がある。</p>
<p>計画見直しの必要性</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p>

評価対象年度	平成23 年度～ 25 年度
計画に記載している方針	<p>歴史的建造物については、学術調査による価値付けを行い、文化財指定の検討を行うとともに、歴史的風致形成建造物への指定などにより保存・活用を図る。また、地域の歴史的・文化的資源の価値を知ってもらう機会の創出に努めるとともに、これらの資源を観光拠点とした整備を推進する。指定文化財については、適切な保存・活用に努める。</p>
計画に記載している課題	<p>歴史的建造物の多くは、学術的な調査等が行われておらず、その所在や価値が認識されていない状況にある。また、歴史的建造物等の所在する町並みや多くの文化財を繋ぐルートは十分な歩道幅員が確保されていない箇所が多く、文化財等の活用につながらない状況にある。</p>
対応する進捗評価項目とその推移	<p>③小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業(小峰城跡災害復旧事業) 本丸南面の石垣積替え工事に着手した。</p> <p>③小峰城道場門遺構整備事業 石垣の露出展示や門の位置を示す礎石の設置、石畳舗装の整備等を実施した。</p> <p>③旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業 旧脇本陣柳屋旅館建造物群を歴史的風致形成建造物に指定し、復元整備に向けた設計や用地測量等を実施した。また、復元後の管理運営、利活用について、関係機関と協議を行った。</p> <p>③しらかわ歴史回廊事業 歩行系誘導サインの設置に向け、関係機関と検討作業を行った。</p> <p>③丹羽長重廟周辺整備事業 丹羽長重廟を歴史的風致形成建造物に指定し、廟の修復工事を実施した。また、廟に至る園路の整備や廟周辺の樹木について間伐を行った。</p> <p>③小南湖公園整備事業 現地測量、植物・水生生物調査を実施し、整備手法の検討を行った。</p> <p>③都市計画道路一番町大工町線(教会坂通り)整備事業 石畳舗装の整備を実施した。(整備済 661m/計画値 823m)</p> <p>③(仮称)都市計画道路乙姫桜プロムナード2号線整備事業 現況測量及び設計等を実施した。</p> <p>③休養施設(友月山)整備事業 ベンチ、トイレを含む休養施設の整備を実施した。</p> <p>③ぐるり白河文化遺産めぐり事業 歴史的・文化的資源を巡るスタンプラリー及びツアーを開催した。</p> <p>④文化財の修理(整備を含む) 県・市指定文化財について、修復及び修復に対する補助を実施した。(H23:9件、H24:1件、H25:4件) 無形民俗文化財について、活動等に対する支援を実施した。(H23:10団体、H24:10団体、H25:14団体)</p> <p>④文化財の保存活用のための施設等 歴史民俗資料館及び集古苑において、常設展示のほかテーマ展を開催した。(■歴史民俗資料館テーマ展 H23:7回、H24:6回、H25:5回 ■集古苑テーマ展 H23:7回、H24:7回、H25:7回) 老朽化した文化財誘導案内板の修繕を行った。</p> <p>④文化財の防災 文化財防火デーにあわせ、指定文化財を対象とした防火訓練を実施した。</p> <p>④文化財の保存及び活用の普及・啓発 小峰城跡石垣修復箇所の一般公開を実施した。(H23:1回、H24:1回、H25:3回)</p> <p>⑥白河まちなか歴史景観「蔵ウォーク」 「蔵ウォーク」を開催し、歴史的建造物の修理事例や周辺に残る歴史資源等を紹介した。</p>

<p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p>	<p>歴史的建造物については、東日本大震災の影響による急速な取り壊しが懸念されたことから、歴史的風致形成建造物への指定を早急に進め、適切な保全に努めるとともに、地域に残る歴史的資源として積極的に公開・活用を図っている。今後は、登録文化財や市指定文化財の指定に向け、必要な調査・検討を進めることとしている。</p> <p>回遊の拠点となる小峰城道場門遺構や旧脇本陣柳屋旅館、小南湖などの歴史的資源については、その歴史的価値に配慮しながら公開・活用を図るための整備を順次進めており、歩行系街路の整備や誘導サインの設置とあわせ、回遊性の向上が図られている。これにより、まちの魅力がさらに高まり、今後、交流人口の増加につながる事が期待される。</p> <p>また、小峰城跡石垣修復箇所の一般公開のほか、蔵ウォークやぐるり白河文化遺産めぐりツアーなど、文化財や歴史的建造物等を巡るイベントを定期的で開催しており、その反響の大きさから地域の歴史・文化に対する関心の高さがうかがえる。イベントごとに実施しているアンケート調査でも、身近な歴史的資源の再発見や価値の再認識へつながっているとの声が寄せられるなど、住民の意識の高揚に寄与していることが分かる。</p> <p>指定文化財については、関連する法律や制度に基づき、計画的な修復等を実施するなど、適切な保存・活用を図っている。</p>
<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<p><input type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している <input checked="" type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p>
<p>計画見直しの必要性</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p>

評価対象年度	平成23 年度～ 25 年度
計画に記載している方針	<p>祭礼等の担い手となる小・中学生を対象に、祭礼や伝統行事等の紹介や体験の機会を設けるなど、担い手育成に努めるとともに、記録保存に向けた取組みを推進する。また、無形民俗文化財などの保存団体を対象に、財政的支援に努め、伝統文化の継承に向けた環境整備を推進する。さらには、様々な伝統技術の講習会や担い手育成支援のための事業の実施により、伝統産業に係る技術の継承に努める。</p>
計画に記載している課題	<p>少子・高齢化などに伴う人口減少により、祭礼組織を包括する地域組織の担い手・後継者不足が顕著となっている。</p> <p>醸造業、だるま製造、和菓子製造などをはじめとする伝統産業に携わる職人の高齢化や後継者不足等により、技術の伝承が途絶えてしまうことが危惧されている。</p>
対応する進捗評価項目とその推移	<p>③無形民俗文化財活動記録作成事業 活動内容の詳細な調査を行うとともに、映像による活動の記録化に着手した。併せて、写真による活動内容の記録も行った。(H23:写真10団体、H24:映像4団体 写真14団体、H25:映像11団体 写真11団体)</p> <p>③しらかわ無形民俗芸能等支援事業 無形民俗芸能等活動に用いる道具等の補修・購入や活動の財政的支援を行った。(H23:10団体、H24:10団体、H25:14団体)</p> <p>③白河歴史教科書作成事業 白河の歴史や文化に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るため、白河歴史の手引き「れきしら」入門編を作成した。</p> <p>③白河の歴史 再発見！事業 白河の歴史や伝統文化等について各学年ごとにテーマを設け、関係機関等の協力を得ながら学習を行った。なお、小学校6年生のテーマ「白河の歴史を探検する」では、れきしら入門編を活用した。</p> <p>⑥歴史的風致維持向上推進等調査 NPO法人しらかわ建築サポートセンター(歴史的風致維持向上支援法人)が主体となり、地域の材料、地域の職人、地域固有の工法で修理する持続可能な修理システムを構築するため、材料の安定した調達体制の構築、新工法による実験施工と分析、モデル工事を研修の場としたネットワークの構築等の課題に対する取組みを実施した。</p>

<p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p>	<p>無形民俗文化財については、写真や映像による活動の記録化に取り組むとともに、保存団体を対象に、道具等の補修・購入や活動の財政的支援を計画的に実施し、無形民俗芸能等の継承に取り組んでいる。</p> <p>また、ふるさとの歴史・文化にふれる機会を創出するため作成した、白河歴史の手引き「れきしら」入門編については、市内各小・中学校への配布のほか、図書館や公民館、文化センター等の公共施設への配置、一般への有料販売等により幅広く活用が図られており、ふるさとの歴史・文化に対する正しい理解と郷土愛の醸成に大きく寄与している。</p> <p>なお、市内各小・中学校においては、れきしらを活用しながら白河の歴史や伝統文化等について体系的に学習を行う「白河の歴史 再発見！事業」を実施しており、文化財課等の庁内組織やツーリズムガイド等の関係機関、教育現場の連携により、子どもたちが歴史や文化等について正しく学ぶことができる環境が創出され、歴史的資源の保全や伝統文化等の継承に対する意識の向上につながることを期待される。</p> <p>伝統的技術の伝承については、平成24年度・25年度において、NPO法人しらかわ建築サポートセンター(歴史的風致維持向上支援法人)が歴史的風致維持向上推進等調査の活用により、地域で循環する持続可能な修理システムの構築に向けた調査・検討を実施し、各種材料の安定した調達体制の構築や新工法の開発、他地域との連携体制の構築等の成果を挙げている。今後も、新工法のさらなる検証や改善に取り組むとともに、人材ネットワークの拡大により、伝統的技術の伝承に向けた動きが活発化され、歴史的風致の維持向上に寄与することが期待される。</p>
<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<p><input type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している <input checked="" type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項) 無形民俗文化財等の伝統文化の継承に向けた取り組みは実施しているものの、新たな後継者の育成までにはつながらず、依然として存続が困難な活動もあることから、伝統文化の継承に向けた取り組みをさらに推進する必要がある。</p>
<p>計画見直しの必要性</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p>

評価対象年度	23年度～	25年度
--------	-------	------

・歴史的風致維持向上施設の整備・管理

代表的な取り組み①:小峰城道場門遺構整備事業

(取り組み概要)

道場門は、初代白河藩主丹羽長重が寛永年間に行った城郭大改修の際に設けられたとされる小峰城三の丸から道場小路武家屋敷に通じる門であり、平成7年度から平成11年度にかけて行った発掘調査では、門跡と外堀跡、道路跡が確認された。市街地に残された貴重な城郭遺構であることから、道場門が果たした歴史的役割を伝え、歴史的風致の維持向上に寄与することを目的に整備を行ったものである。

【事業内容】

平成23年度 測量設計

平成24年度 整備工事



施工前



施工後

(自己評価)

道場門遺構の石垣については、保存しながら活用する露出展示の手法を用いており、発掘されたままの姿を見ることができる。また、門の位置を示す礎石の設置や当時の通路上に白河石を敷き詰めた遊歩道の整備もあわせて実施しており、市街地において江戸期の歴史を体感できる空間となっている。現在、伝統工法により石垣の修復工事が行われている小峰城跡と一体となって、白河の歴史を象徴する貴重な遺産を“本物”の形で後世に継承する大きな意義のある事業となっている。

隣接する白河駅前イベント広場と一体となった新たな交流拠点としての利活用により、まちなか回遊性の向上が図られ、歴史的風致の維持及び向上に大きく寄与している。

(外部評価)

・外部有識者名(役職・肩書き等):若井正一(日本大学工学部建築学科 教授・白河市景観審議会会長)

・外部評価実施日:平成26年3月24日

・有識者コメント

奥州白河小峰城の城址を形成する遺構である道場門は、城郭を中心に築かれた城下町の「なわばり」を理解する上で重要な遺構の一つである。その道場門の遺構が、発掘調査によって周囲の石垣などとともに明らかとなり、その遺構に隣接する駅舎や市立図書館などと調和させて屋外展示した整備事業を高く評価したい。特に、当該敷地を緩衝地帯として駅舎から市立図書館へ続くプロムナードには、地場産材の白河石を使用した石畳の舗装や植栽等が適切に施されて、新たなまちなみ景観を形成している。

今後は、当該遺構の維持と保全に取り組むとともに、駅前広場と一体化したイベントなどで積極的に活用されることを期待したい。

(今後の対応方針)

周辺の小峰城跡や市立図書館、白河駅前イベント広場とあわせ、新たな交流拠点として今後もまちなか回遊性の向上を図りたい。また、より多くの人に見てもらうことで道場門遺構が果たした歴史的な役割を知ってもらい、歴史的風致の維持・向上を図りたい。

評価対象年度 23 年度～ 25 年度

・歴史的風致維持向上施設の整備・管理

代表的な取り組み②:歴史的風致形成建造物保存修景事業

(取り組み概要)

歴史的建造物の保全と活用を図り、歴史的まちなみ景観の形成に寄与することを目的に、旧奥州街道や歴史的街路の沿道に所在する歴史的な建造物を「歴史的風致形成建造物」に指定し、所有者等が行う建造物の修理等に要する費用の一部助成を実施している。

【事業内容】

○補助件数

平成23年度 11件14棟

平成24年度 6件 9棟

平成25年度 4件 4棟



修復前

修復後

(自己評価)

歴史的町並み景観を形成する重要な要素である歴史的建造物については、東日本大震災の影響による急速な取り壊しが懸念されたが、本事業の活用により保全が図られ、歴史的町並み景観の維持につながっている。今まで明らかとなっていなかった建造物についての歴史的な価値付けが行われたことにより、建造物所有者の意識にも徐々に変化が見られている。また、本事業により整備した歴史的建造物については、蔵ウォーク等において積極的に公開・活用を図っており、身近な歴史的資源に対する市民の理解と関心が高まりつつある。

白河の歴史的町並みを形づくってきた歴史的建造物の保全は、地域の誇りや郷土愛の醸成にもつながり、歴史的風致の維持向上に大きく寄与する成果となっている。

(外部評価)

・外部有識者名(役職・肩書き等):若井正一(日本大学工学部建築学科 教授・白河市景観審議会会長)

・外部評価実施日:平成26年3月24日

・有識者コメント

白河には、かつての城下町としての歴史的まちなみ景観や建造物などが数多く残されているが、その保全と活用を図るために、旧街道沿いの歴史的な建造物を「歴史的風致形成建造物」に指定して、当該所有者等が行う建造物の修理等に掛かる費用の一部を市が助成してきたことを高く評価したい。特に、平成23年3月11日の東日本大震災によって老朽化した歴史的建造物の多くが被災したことにより、まちなみ景観を形成していた町屋などの取り壊しが危惧されている。

今後は、本事業の補助制度を継続するとともに、保存修景に尽力した好事例を顕彰して市民に啓発することや、既に消失した歴史的まちなみ景観や遺構の跡地に史跡案内板などを設置して、その記憶を末永く残す工夫などが要望される。

(今後の対応方針)

今後も「歴史的風致形成建造物」について、本事業により保全を図り、歴史的まちなみ景観の形成に寄与したい。

また、蔵ウォーク等において、「歴史的風致形成建造物」を公開することにより、歴史的資源に対する市民の理解と関心を高めたい。

評価対象年度	23年度～ 25年度
--------	------------

・歴史的風致維持向上施設の整備・管理

代表的な取り組み③:白河歴史教科書作成事業

(取り組み概要)

白河の歴史と伝統に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るため、「白河の歴史を見て・ふれて・感じる」をテーマに、市内を小峰城、城下町、南湖公園、歴史的街道エリアに分け、さらには、歴史的風致(白河提灯まつり・白河だるまと白河だるま市・酒造業にみる醸造業・南湖公園の行楽・天道念仏と太鼓芸にみる民俗行事)の内容を織り交ぜながら、白河歴史の手引き「れきしら」入門編を作成した。



白河歴史の手引き「れきしら」入門編



「れきしら」活用事例

(自己評価)

幅広い年代層を対象に分かりやすくまとめた「れきしら」の発行により、小峰城跡や南湖公園、旧城下町の街なみなどの歴史的資源や、それらを舞台に繰り広げられる提灯まつりやだるま市など先人から受け継いできた祭礼や伝統行事など、白河に数多く残る身近な歴史的資源の再発見や価値を再認識する機会が創出されている。

れきしらは、市内各小・中学校への配布のほか、図書館や公民館、文化センター等の公共施設への配置、一般への有料販売等により幅広く活用が図られており、ふるさとの歴史・文化に対する正しい理解と郷土愛の醸成に大きく寄与している。また、市内の小学校2年生から中学校2年生を対象に行われている「白河の歴史 再発見！事業」においても「れきしら」が活用されており、子どもたちが歴史や文化等について正しく学ぶことにより、歴史的資源の保全や伝統文化等の継承に対する意識の向上につながることを期待される。

(外部評価)

・外部有識者名(役職・肩書き等):若井正一(日本大学工学部建築学科 教授・白河市景観審議会会長)

・外部評価実施日:平成26年3月24日

・有識者コメント

先人から受け継がれてきた白河の歴史的所産や伝統行事などに対する正しい理解と郷土愛を育むために発刊された歴史教科書「れきしら」入門編は、その親しみやすいイラストや多くの写真を使った分かりやすい記述で、高く評価できる。特に、本文中の漢字にふりがなを付して、要所に専門用語の解説をするなどの工夫によって、幅広い読者層に白河の代表的な歴史的所産や伝統行事などが平易に理解できるようになっている。

今後は、本事業で編纂された白河歴史教科書「れきしら」入門編の新たな展開として、続編または応用編が刊行されることや、「れきしら」の内容に対応した文献資料がまとめて検索できるように白河市立図書館内に「れきしら」コーナー(仮称)などを設けることを提言したい。

(今後の対応方針)

今後も引き続き、「れきしら」入門編の有料販売や「白河の歴史 再発見！事業」での活用、さらには平成26年度に作成を予定している「れきしら」上級編などを通して、より多くの人々が白河の歴史的資源や伝統行事等について理解する機会を作りたい。

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称：白河市歴史的風致維持向上計画協議会

会議等の開催日時：平成26年2月26日(水)午後1時30分～午後3時30分

(コメントの概要)

OP6「歴史的まちなみ修景事業」

補助件数6件という量的なもの、質的なものという観点から見たときに、評価としては、例えば6件の補助は十分なのか、もっと支援を強化したいのか。質的なものでいえば、補助はしたものの内容としての課題、さらに工夫できる点などを検証して進めた方がよい。

OP11「屋外広告物景観影響調査等事業」

市民アンケート調査結果として、南湖公園や小峰城跡周辺における屋外広告物の規制が大事という意見が多いのは理解できるが、一方で、屋外広告物は、設置の仕方によっては良い使い方もできる。東京都では、バナーやフラッグ等は商業地の活性化にうまく活用されていて、その収益金をまちづくりに還元するような仕組みがつくられているケースもある。あり方検討懇談会の中で、コントロールや規制も大事ではあるが、活性化の手段として屋外広告物を活用する工夫と、それをどうやってデザイン審査するのかといったこともこのシートに記載しておく、議論される方向性も明確になるのでは。

○総括評価

- ・震災後、まだ指定前であっても、歴史的な価値があると思われるものについて幅広く調査を実施し、それらの保全に直接的・間接的に効果を出している。調査から指定への段階を明記したほうがより分かりやすくなると思う。
- ・旧脇本陣の今後の利活用について、建物については文化財的価値を守るため市で買い取り整備することは報告されているが、一方で将来にわたる利活用についてはまだ議論が必要。
- ・この3年間の中で、市民の方に取組みの報告会を兼ねたシンポジウムは何回かあったかと思うが、その際に出てくる話題はトピック的なもので、日常ではなかなか見えないものがある。どうやって進捗状況を市民に分かりやすく発信するのか、それが3年間経ってくるとそろそろ見えてきてもいいのではという気持ちになってくるであろうから、幅広い市民への周知の仕方の工夫というのが必要になってくる。

(今後の対応方針)

OP6「歴史的まちなみ修景事業」

修景事業の事例を通して、景観に対する意識の向上が図られ良好なまちなみ形成につながっていくため、今後もより支援を強化したいと考えている。また、対象区域ごとの実績(件数、修景の区分)の公表や、所有者と協力しながら好事例を紹介していくことなどを検討していきたい。

OP11「屋外広告物景観影響調査等事業」

広告物デザインの誘導を図るための屋外広告物デザインガイドライン作成、さらには良好なデザインの広告物に対する表彰制度等の創出を、あり方検討懇談会で検討していく。

○総括評価

- ・歴史的風致形成建造物について、今後は調査から指定に至るまでの過程も明確にしながら、事業を進めていきたい。
- ・旧脇本陣柳屋旅館建造物群については、今後の管理・活用方法について、地元町内会や商店会及び関係機関と引き続き協議を行い、まちなか回遊の拠点として整備を行っていく。
- ・現行のホームページでの進行管理・評価の公表やシンポジウムでの報告において、より分かりやすく伝えることができるよう検討したい。